

平成 28 年 10 月 23 日(日) 曇り時々晴れ

参加者：高石(L)、岡本、嶋原、宮本、大西、真鍋(体験)、右田(記)

関西の紅葉には少し早いですがススキの名所である倶留尊山の近くにある古光山に出かけた。多くの観光客が集まり始めている曾爾高原の前を通り過ぎ、山中の路肩に駐車する。今日は、女性 4 人、男性 3 人の参加でにぎやかになりそう。山道に入って早々、嶋原さんがムカゴを見つける。ご存知だと思うが、ムカゴは山芋のつるになる指先ほどの丸い実のこと。子供の頃、山で集めてきて塩ゆでや塩焼きにして食べていた。山芋も美味しいがムカゴは風味があってビールのアテには最高。グループから遅れながら夢中で取る。

速足で追いかけると、声が聞こえてきて後古光山の頂上に到着。ここから、急な下りと案内があったが、たいしたことはないだろうと思いきや、ロープが張ってあり結構急な下りだ。大西さんの「こわい、こわい」の音が山に響き渡る。ワアーワアー言いながら何とか下りきると今度は古光山への急な登り。こちらも段差があり、女性陣は苦勞している。ここでもワイワイガヤガヤで、数少ない対向者もびっくりしていたのではないだろうか。

にぎやかに古光山の頂上に到着。昼食とする。嶋原さんからムカゴの塩ゆでをいただく。懐かしい味だ。風があり少し肌寒いが、紅葉も始まっており秋を感じる。昼食を終え、尾根伝いに下山する。途中、見晴らしのよいところがあり、倶留尊山や高見山が遠望できる。ここからも可笑しい会話は途切れることはなく、やがて車道に出る。出発点までの帰りは車道でつまらなさそうだが、そこはただではすまさないのがカクテル。車道脇を睨みながらアケビ、ムカゴを探す。最初はあまり関心を示さなかった女性陣も最後は傘やストックを投入して役割分担してのムカゴ取り。最後までワイワイガヤガヤの楽しい山行でした。



(後古光山の下り)



(古光山山頂)



(倶留尊山)



(山頂の紅葉)



(アケビ)



(ムカゴ取り)